

ごみ減量・リサイクルに関する市民アンケート調査
結 果 報 告 書

平成 2 2 年 1 0 月
木更津市環境部廃棄物対策課

I アンケート調査の概要

1 目的

平成23年度を始期とする「一般廃棄物処理基本計画」の策定にあたって、市民の日常生活におけるごみ減量やリサイクルに関する取り組みなどを把握し、今後の事業の進め方等を検討するうえでの参考とするために実施したものです。

2 調査項目

- (1) 基本属性
- (2) ごみ減量やリサイクルに対する考え方について
- (3) ごみ減量やリサイクルの取組状況について
- (4) ごみの分別・出し方について
- (5) ごみの分別・リサイクルに関する情報源について
- (6) 指定袋による収集（ごみ有料化）について

3 調査仕様

- (1) 調査地域 木更津市全域
- (2) 調査対象 平成22年7月1日現在で市内在住の20歳以上の男女2,000人
- (3) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (5) 調査期間 調査票発送開始 平成22年8月4日（水）
調査票投函期限 平成22年8月31日（火）
集計対象 平成22年9月30日（木）到着分

4 回収数・回収率

- (1) 発送数 2,000 通
- (2) 返却数 12 通 (宛先不明等)
- (3) 有効発送数 1,988 通
- (4) 回答数 1,004 通
- (5) 回答率 50.5%

【注意】

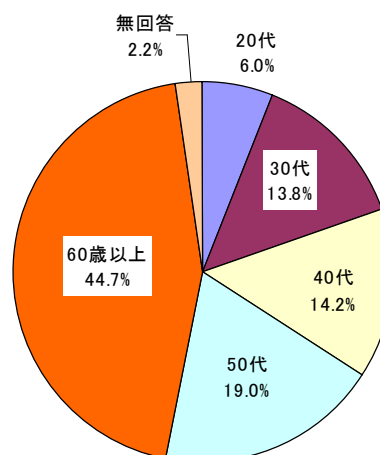
「割合」は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

Ⅱ アンケート調査結果の概要

1 基本属性

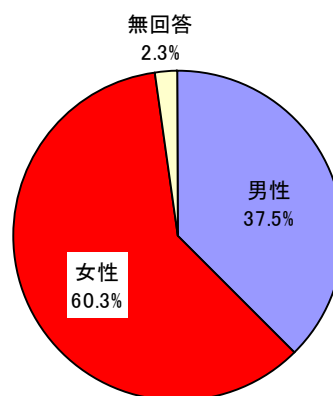
問 1 - 1 あなたの年齢

項目	人数	割合
20代	60	6.0%
30代	139	13.8%
40代	143	14.2%
50代	191	19.0%
60歳以上	449	44.7%
無回答・無効	22	2.2%
合計	1,004	100.0%



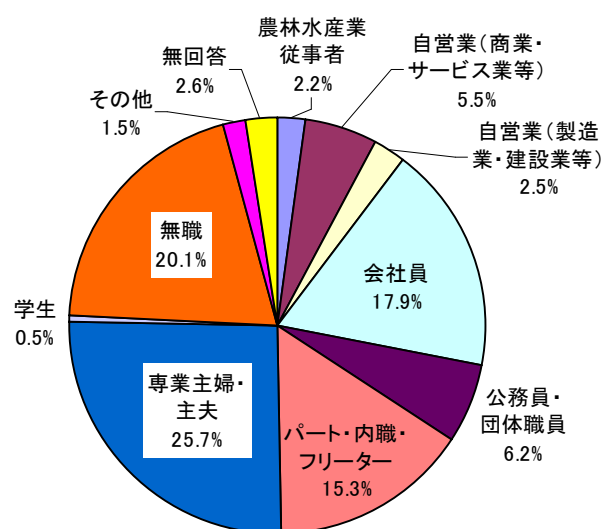
問 1 - 2 あなたの性別

項目	人数	割合
男性	376	37.5%
女性	605	60.3%
無回答・無効	23	2.3%
合計	1,004	100.0%



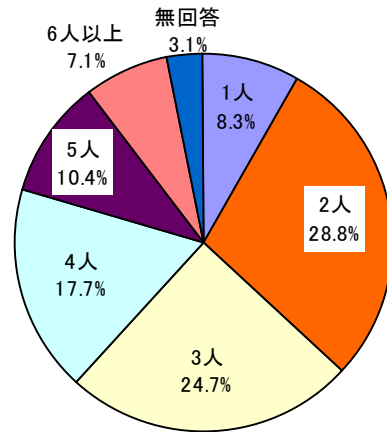
問 1 - 3 あなたの職業

項目	人数	割合
農林水産業従事者	22	2.2%
自営業(商業・サービス業等)	55	5.5%
自営業(製造業・建設業等)	25	2.5%
会社員(会社役員含む)	180	17.9%
公務員・団体職員	62	6.2%
パート・内職・フリーター	154	15.3%
専業主婦・主夫	258	25.7%
学生	5	0.5%
無職	202	20.1%
その他	15	1.5%
無回答・無効	26	2.6%
合計	1,004	100.0%



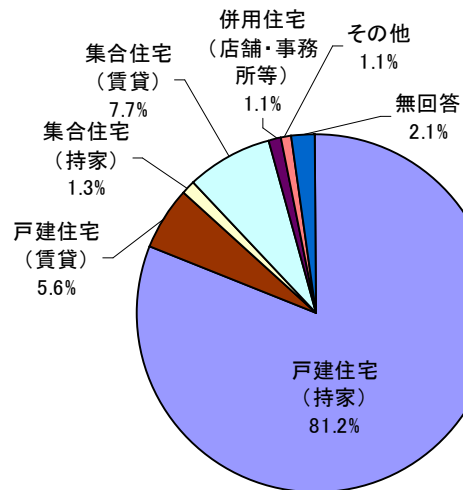
問 1-4 あなたを含めたご家族の人数

項目	人数	割合
1人	83	8.3%
2人	289	28.8%
3人	248	24.7%
4人	178	17.7%
5人	104	10.4%
6人以上	71	7.1%
無回答・無効	31	3.1%
合計	1,004	100.0%



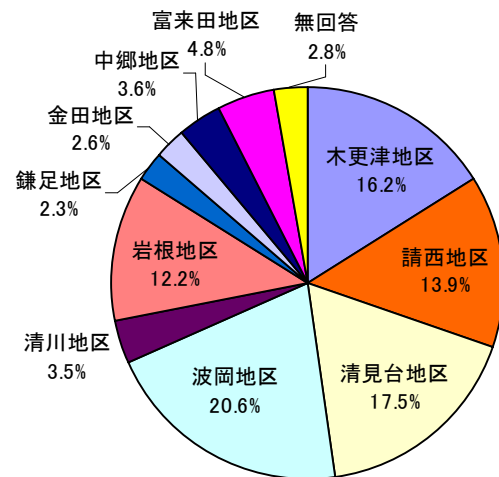
問 1-5 お住まいの種類

項目	人数	割合
戸建住宅（持家）	815	81.2%
戸建住宅（賃貸）	56	5.6%
集合住宅（持家）	13	1.3%
集合住宅（賃貸）	77	7.7%
併用住宅（店舗・事務所等）	11	1.1%
その他	11	1.1%
無回答・無効	21	2.1%
合計	1,004	100.0%



問 1-6 お住まいの地域

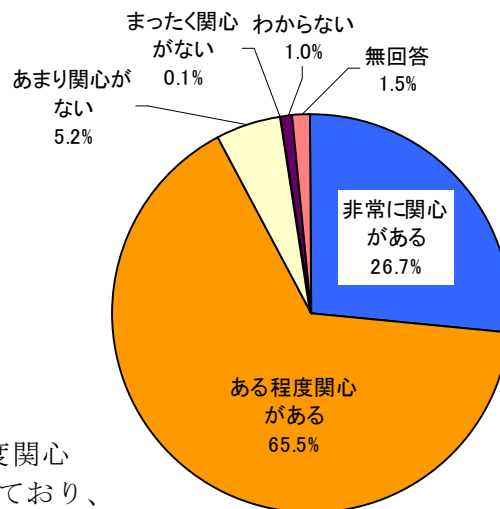
項目	人数	割合
木更津地区	163	16.2%
請西地区	140	13.9%
清見台地区	176	17.5%
波岡地区	207	20.6%
清川地区	35	3.5%
岩根地区	122	12.2%
鎌足地区	23	2.3%
金田地区	26	2.6%
中郷地区	36	3.6%
富来田地区	48	4.8%
無回答・無効	28	2.8%
合計	1,004	100.0%



2 ごみ減量やリサイクルに対する考え方について

問2 あなたは、ごみの減量やリサイクルに関心がありますか。(○は1つ)

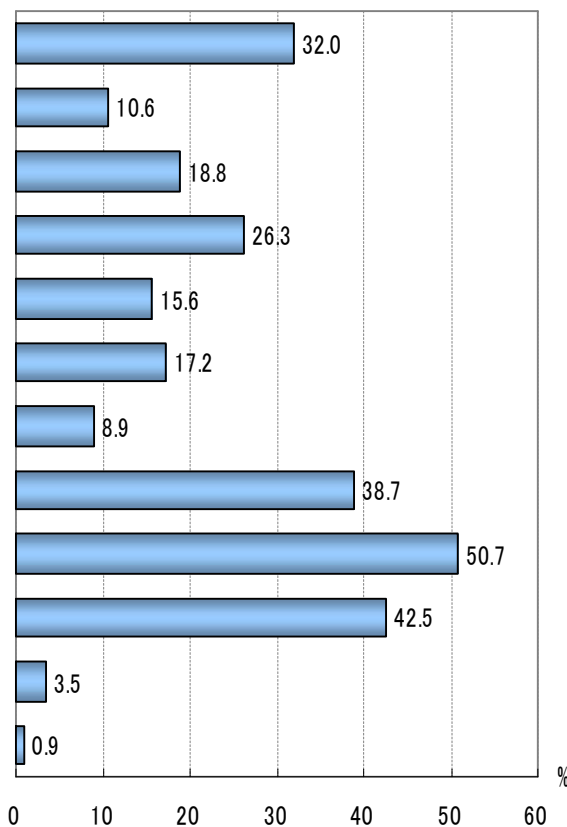
項目	人数	割合
非常に興味がある	268	26.7%
ある程度興味がある	658	65.5%
あまり興味がない	52	5.2%
まったく興味がない	1	0.1%
わからない	10	1.0%
無回答・無効	15	1.5%
合計	1,004	100.0%



- ◆ 「非常に興味がある」(26.7%)、「ある程度興味がある」(65.5%)を合わせると9割を超えており、大変多くの市民がごみ問題に関心を持っていることがわかります。

問3 ごみの減量やリサイクルを進めていくうえで、あなたが特に重要と思うことはどれですか。(○は3つまで)

項目	人数	割合
ごみ・資源の分別の徹底をさらにPR	321	32.0%
資源ごみの分別回収品目を増やす	106	10.6%
資源ごみの収集回数を増やす	189	18.8%
ごみ・リサイクルに関する情報提供の充実	264	26.3%
環境・ごみ問題を学習できる場の提供や意識啓発の充実	157	15.6%
生ごみ処理機購入に対する助成の拡大	173	17.2%
自治会やPTAなどが行う集団回収の拡充	89	8.9%
マイバッグ持参などの市民1人ひとりの意識改革	389	38.7%
企業がごみを出さない商品やリサイクルしやすい商品を製造・販売する	509	50.7%
販売店が、過剰包装を減らす	427	42.5%
その他	35	3.5%
無回答・無効	9	0.9%



- ◆ 「企業が、ごみを出さない商品やリサイクルしやすい商品を製造・販売する」(50.7%)、「販売店が、過剰包装を減らす」(42.5%)といった、製造者・販売者側に対して努力を求め方が多いことがわかります。

一方で、「マイバッグ持参などの市民一人ひとりの意識改革」(38.7%)や、「ごみ・資源の分別の徹底をさらにPR」(32.0%)、「ごみ・リサイクルに関する情報提供の充実」(26.3%)という市民自身や行政に対する声も多く、市民・事業者・行政が一体となって、ごみの減量化・資源化を推進していく必要があるといえます。

3 ごみ減量やリサイクルの取組状況について

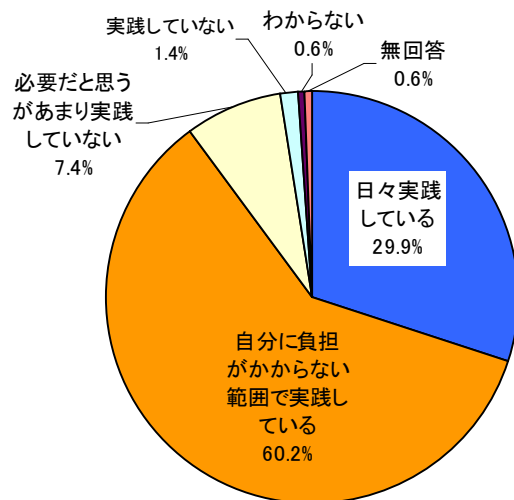
私たちは、大量生産、大量消費、大量廃棄の社会システムによって、豊かで便利な生活を実現してきました。しかし、そのために、環境への大きな負荷をかけ、廃棄物の不法投棄や地球温暖化など様々な環境問題を引き起こしています。

このため、私たち一人ひとりが「資源循環型社会」を目指して、ごみを減らし、ものを大切にするライフスタイルに変えていくことが大きな課題とされています。

本市においても、資源循環型社会の実現に向けて、ごみの発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）を基本とした、様々な取り組みを進めているところです。

問4 あなたは、日頃からごみの減量やリサイクルを実践されていますか。（○は1つ）

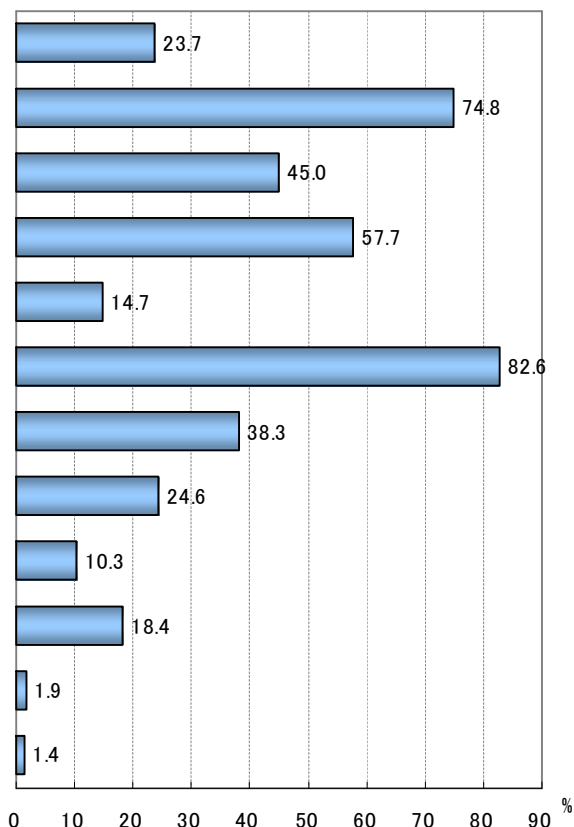
項目	人数	割合
日々実践している	300	29.9%
自分に負担がかからない範囲で実践している	604	60.2%
必要だと思うがあまり実践していない	74	7.4%
実践していない	14	1.4%
わからない	6	0.6%
無回答・無効	6	0.6%
合計	1,004	100.0%



- ◆ ごみ減量やリサイクルを「日々実践している」方は約3割です。「自分に負担がかからない範囲で実践している」(60.2%)と合わせると、9割を超える市民が、何らかの形でごみの減量やリサイクルに取り組んでいることとなります。「必要だと思うがあまり実践していない」(1.4%)及び「実践していない」(0.6%)という、ごみの減量・リサイクルに消極的な方は、合わせて2%ほどです。

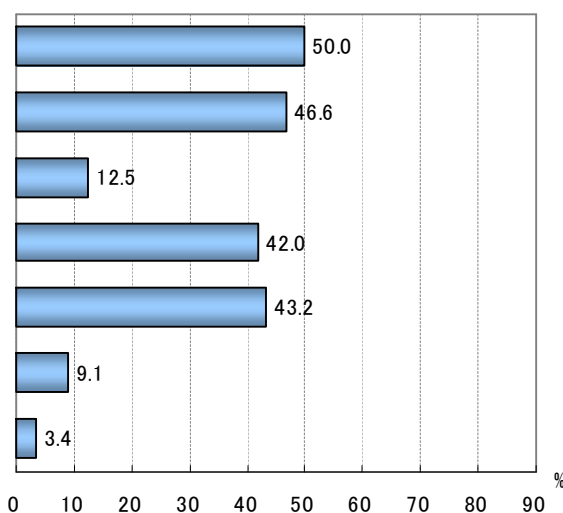
問5 問4で「1. 日々実践している」又は「2. 自分に負担がかからない範囲で実践している」とお答えになった方にお聞きします。
 あなたが実践されている取組は、具体的にどのようなものですか。(〇はいくつでも)

項目	人数	割合
使い捨て商品はできるだけ買わない	214	23.7%
詰め替え製品を選ぶ	676	74.8%
過剰包装を断る	407	45.0%
マイバッグなどを持参しレジ袋を断る	522	57.7%
簡易包装の製品を積極的に購入している	133	14.8%
ごみと資源を分別し、資源は資源ごみの収集日に出している	747	82.6%
自治会や子ども会が行う集団回収に出している	346	38.3%
白色トレイや牛乳パックなどを小売店や販売店の店頭回収に出している	222	24.6%
リサイクルショップやフリーマーケットに出している	93	10.3%
生ごみを堆肥化している	166	18.4%
その他	17	1.9%
無回答・無効	13	1.4%



問6 問4で「3. 必要だと思うがあまり実践していない」又は「4. 実践していない」とお答えになった方にお聞きします。
 あなたがごみの減量やリサイクルに消極的な理由は何ですか。(〇は3つまで)

項目	人数	割合
面倒だから	44	50.0%
ごみの減量やリサイクルの方法がわからないから	41	46.6%
ごみの減量やリサイクルを実践してもあまり意味がないと思うから	11	12.5%
詰め替え製品を選ぶよりも価格などを優先するから	37	42.0%
保管しておく場所がないから	38	43.2%
その他	8	9.1%
無回答・無効	3	3.4%

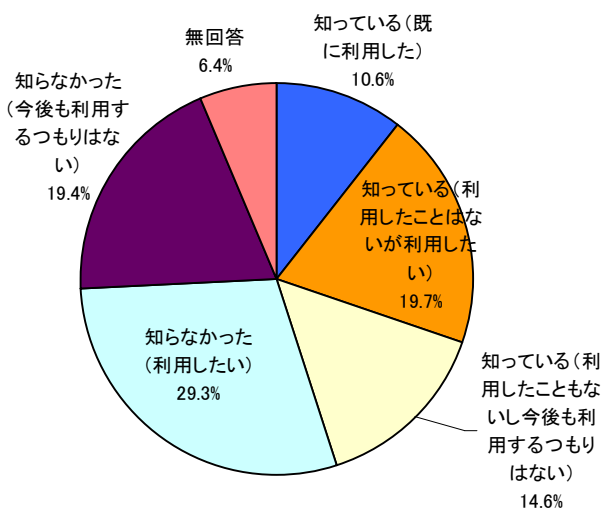


◆ 問4で、ごみ減量やリサイクルを「日々実践している」又は「自分に負担がかからない範囲で実践している」と答えた方が実際に行っている取組は、「ごみと資源を分別し、資源は資源ごみの収集日に出している」(82.6%)が最も多く、次に「詰め替え製品を選ぶ」(74.8%)、「マイバッグなどを持参しレジ袋を断る」(57.7%)、「過剰包装を断る」(45.0%)などとなっています。また、集団回収や店頭回収に出している方や、生ごみを堆肥化している方も多く、たくさんの市民が積極的にごみ減量化やリサイクルに取り組んでいることがわかります。

一方で、「必要だと思うがあまり実践していない」、「実践していない」と答えた方の、ごみ減量やリサイクルに消極的な理由は、「面倒だから」(50.0%)が最も多く、「ごみの減量やリサイクルの方法がわからないから」(46.6%)、「保管しておく場所がないから」(43.2%)、「詰め替え製品を選ぶよりも価格などを優先するから」(42.0%)といった理由も多くなっています。

問7 機械式生ごみ処理機と肥料化容器（コンポスト）の購入に対して、市が助成金を交付していることを知っていますか。（○は1つ）

項目	人数	割合
知っている（既に利用した）	106	10.6%
知っている（利用したことはないが利用したい）	198	19.7%
知っている（利用したことはないし今後も利用するつもりはない）	147	14.6%
知らなかった（利用したい）	294	29.3%
知らなかった（今後も利用するつもりはない）	195	19.4%
無回答・無効	64	6.4%
合計	1,004	100.0%



◆ 市では、ごみの減量化と未利用有機廃棄物のリサイクル等の推進を目的に、「機械式生ごみ処理機」又は「肥料化容器（コンポスト）」の購入設置者に対して助成金を交付しています。この助成制度を知っている方は、「既に利用した」、「利用したことはないが利用したい」、「利用したことはないし今後も利用するつもりはない」を合わせて44.9%となっています。一方、知らなかった方は、「利用したい」、「今後も利用するつもりはない」合わせて48.7%となっており、半数近くの方が助成金を知らなかったこととなります。また、今後この助成制度を利用したいと思っている方は、助成制度を「知っている」、「知らなかった」合わせて49.0%と、多くの方がこの制度に興味を持っていることがわかります。

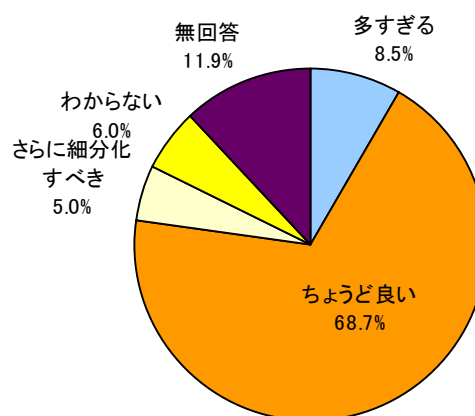
4 ごみの分別・出し方について

市では、ごみ減量やリサイクルを進めることなどを目的として、燃やせるごみ、燃やせないごみの他、容器包装プラスチック、びん・かん・ペットボトル、紙類、衣類など、12種類に分別して収集を行っています。

また、ごみを出す時間や品目ごとの出し方のルールを定め、みなさんにご協力いただくことで、地域の環境美化と効率的な収集業務の推進を図っています。

問8 市では、ごみ・資源を12分別して収集を行っています。ごみの減量化・資源化を進めるためには必要な分別数だと考えていますが、あなたはごどう思いますか。(○は1つ)

項目	人数	割合
多すぎる	85	8.5%
ちょうど良い	690	68.7%
さらに細分化すべき	50	5.0%
わからない	60	6.0%
無回答・無効	119	11.9%
合計	1,004	100.0%

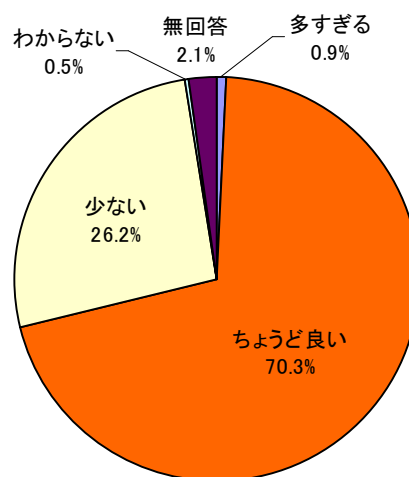


◆ 市民の7割近い方が、現在の12種類の分別収集が「ちょうど良い」と答えています。「多すぎる」と考えている方は、全体の8.5%となっています。

問9 ごみ・資源の収集回数について、あなたはごどう思いますか。(○はそれぞれ1つ)

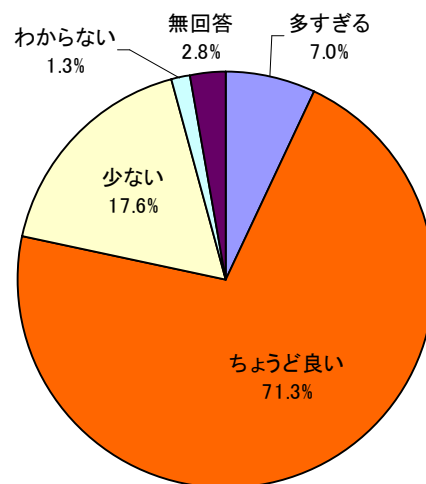
燃やせるごみ (週2回)

項目	人数	割合
多すぎる	9	0.9%
ちょうど良い	706	70.3%
少ない	263	26.2%
わからない	5	0.5%
無回答・無効	21	2.1%
合計	1,004	100.0%



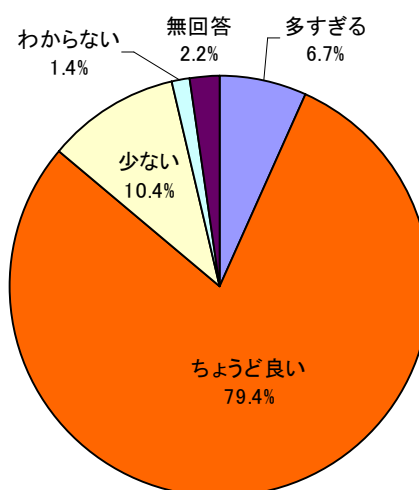
燃やせないごみ（月2回）

項目	人数	割合
多すぎる	70	7.0%
ちょうど良い	716	71.3%
少ない	177	17.6%
わからない	13	1.3%
無回答・無効	28	2.8%
合計	1,004	100.0%



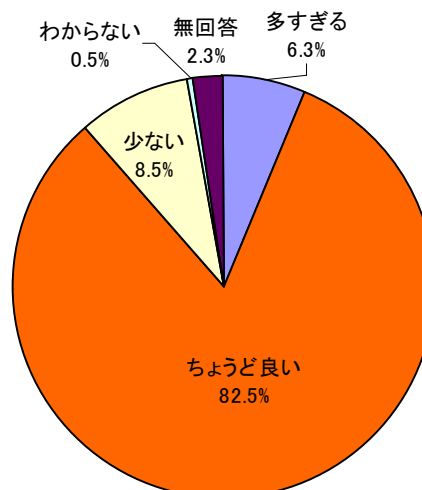
容器包装プラスチック（週1回）

項目	人数	割合
多すぎる	67	6.7%
ちょうど良い	797	79.4%
少ない	104	10.4%
わからない	14	1.4%
無回答・無効	22	2.2%
合計	1,004	100.0%



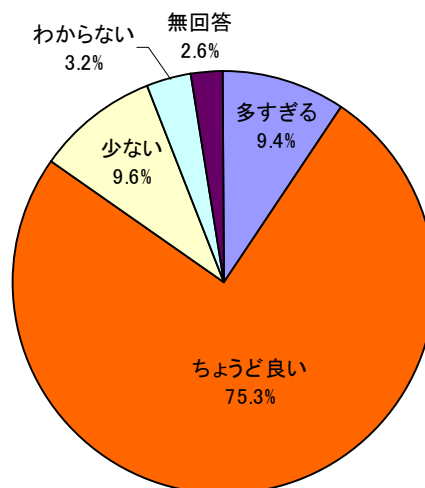
びん・かん・ペットボトル（週1回）

項目	人数	割合
多すぎる	63	6.3%
ちょうど良い	828	82.5%
少ない	85	8.5%
わからない	5	0.5%
無回答・無効	23	2.3%
合計	1,004	100.0%



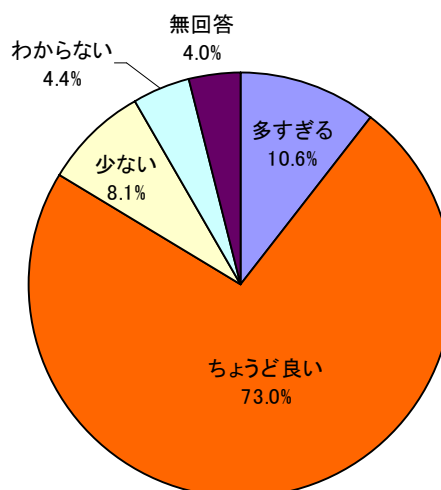
雑誌（月2回）

項目	人数	割合
多すぎる	94	9.4%
ちょうど良い	756	75.3%
少ない	96	9.6%
わからない	32	3.2%
無回答・無効	26	2.6%
合計	1,004	100.0%



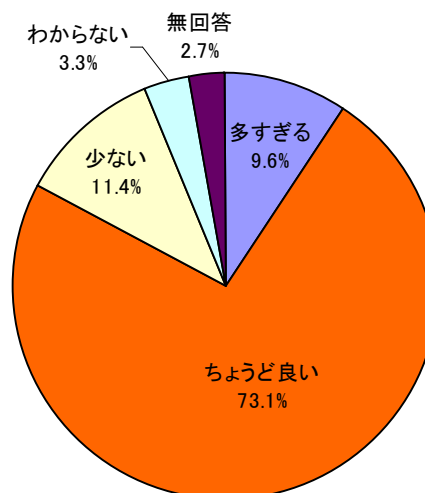
雑紙（月2回）

項目	人数	割合
多すぎる	106	10.6%
ちょうど良い	733	73.0%
少ない	81	8.1%
わからない	44	4.4%
無回答・無効	40	4.0%
合計	1,004	100.0%



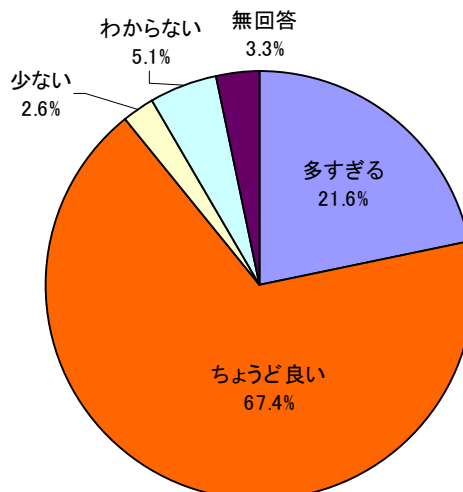
段ボール（月2回）

項目	人数	割合
多すぎる	96	9.6%
ちょうど良い	734	73.1%
少ない	114	11.4%
わからない	33	3.3%
無回答・無効	27	2.7%
合計	1,004	100.0%



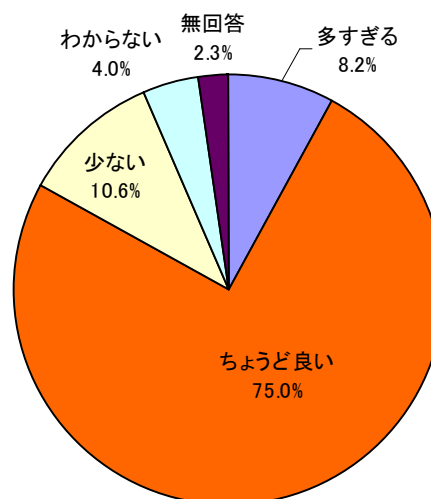
紙パック（月4回）

項目	人数	割合
多すぎる	217	21.6%
ちょうど良い	677	67.4%
少ない	26	2.6%
わからない	51	5.1%
無回答・無効	33	3.3%
合計	1,004	100.0%



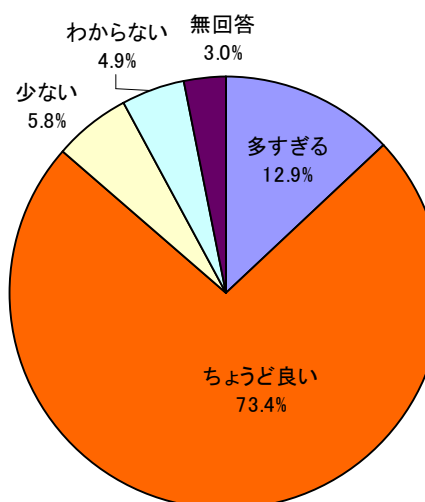
新聞（月2回）

項目	人数	割合
多すぎる	82	8.2%
ちょうど良い	753	75.0%
少ない	106	10.6%
わからない	40	4.0%
無回答・無効	23	2.3%
合計	1,004	100.0%



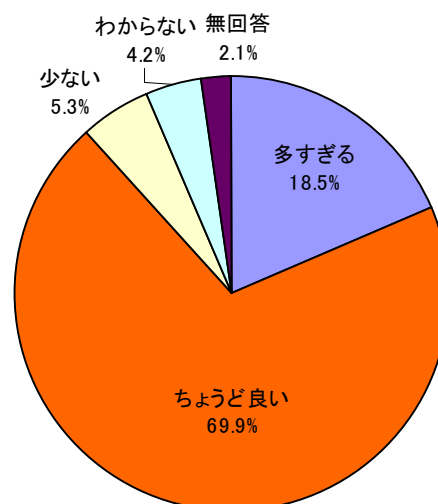
紙箱（月2回）

項目	人数	割合
多すぎる	130	12.9%
ちょうど良い	737	73.4%
少ない	58	5.8%
わからない	49	4.9%
無回答・無効	30	3.0%
合計	1,004	100.0%



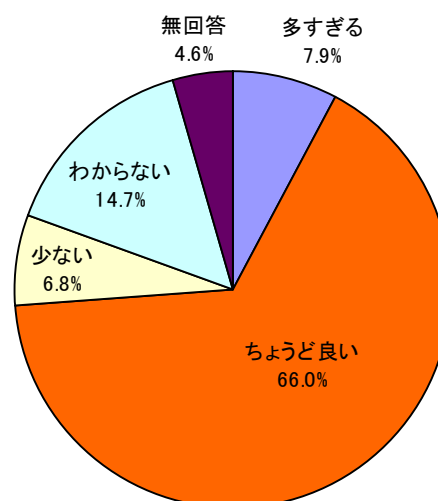
衣類（月2回）

項目	人数	割合
多すぎる	186	18.5%
ちょうど良い	702	69.9%
少ない	53	5.3%
わからない	42	4.2%
無回答・無効	21	2.1%
合計	1,004	100.0%



粗大ごみ（戸別収集）（週1回）

項目	人数	割合
多すぎる	79	7.9%
ちょうど良い	663	66.0%
少ない	68	6.8%
わからない	148	14.7%
無回答・無効	46	4.6%
合計	1,004	100.0%



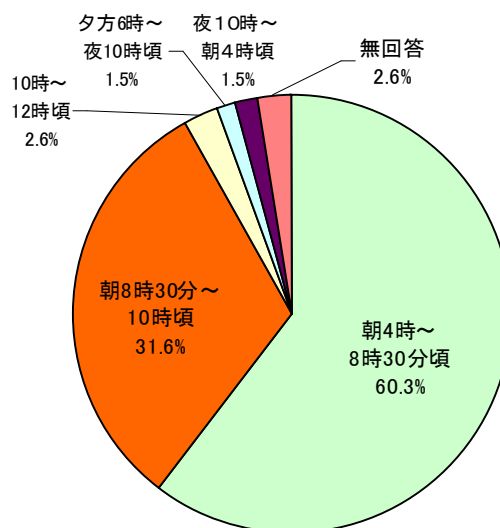
※ 粗大ごみは、事前予約による戸別収集（地区ごとに曜日指定）となっています。

◆ 12種類の分別品目ごとの「ごみ・資源の収集回数についてどう思うか」という設問に対しては、概ね7割から8割程度の方が「ちょうど良い」と答えています。ただし、品目によっては、「多すぎる」、「少ない」といった回答が多くなっているものもあります。

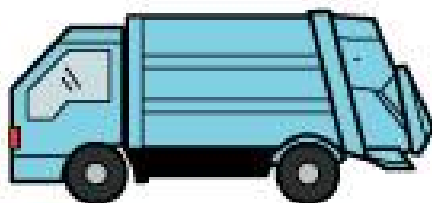
- ・ 「少ない」という回答が多い品目
 - (1) 燃やせるごみ（週2回）：26.2%
 - (2) 燃やせないごみ（月2回）：17.6%
 - (3) 段ボール（月2回）：11.4%
- ・ 「多すぎる」という回答が多い品目
 - (1) 紙パック（月4回）：21.6%
 - (2) 衣類（月2回）：18.5%
 - (3) 紙箱（月2回）：12.9%

問10 市では、ごみステーションにごみ・資源を出す時間は、収集日当日の朝8時30分までとさせていただきますが、あなたが実際にごみ・資源をごみステーションに出す時間は何時頃が多いですか。(〇は1つ)

項目	人数	割合
朝4時～8時30分頃	605	60.3%
朝8時30分～10時頃	317	31.6%
10時～12時頃	26	2.6%
夕方6時～夜10時頃	15	1.5%
夜10時～朝4時頃	15	1.5%
無回答・無効	26	2.6%
合計	1,004	100.0%



◆ ごみ・資源をごみステーションに出す時間については、市がお願いしている「収集日当日の朝8時30分頃まで」に出している方は、全体の約6割となっています。ごみ出しの時間の遵守について、更に周知していく必要があります。

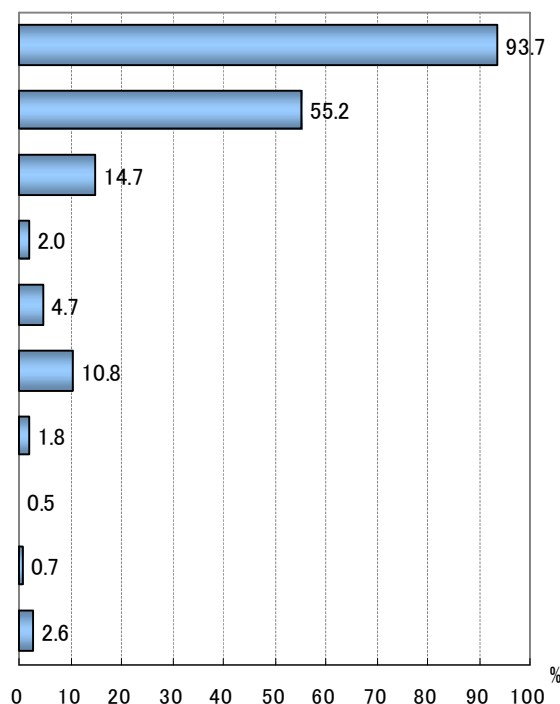


5 ごみの分別・リサイクルに関する情報源について

市では、毎年「ごみカレンダー」を作成、全戸へ配付し、ごみを出す日や分別などについてお知らせしています。また、詳しいごみの出し方などを載せた「ごみ分別ガイドブック」を平成16年4月に発行（平成17年・19年に改訂）するとともに、「広報きさらづ」や「木更津市公式ホームページ」で、ごみの分別や出し方、リサイクルに関する情報提供を行っています。

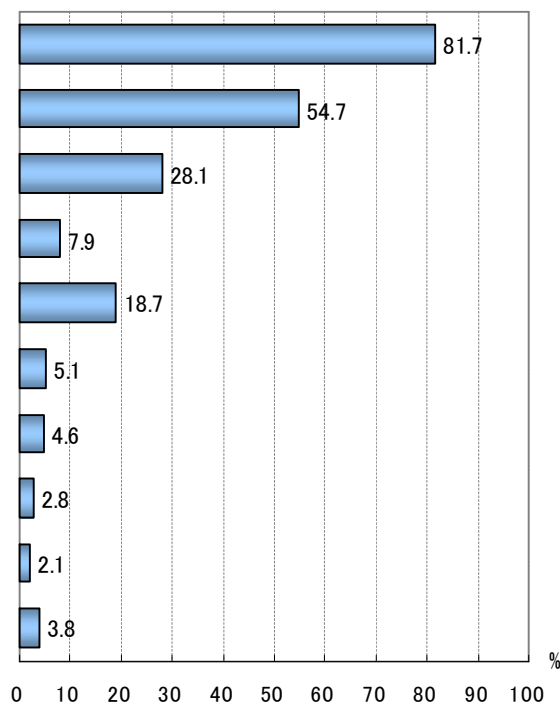
問 1 1 ごみの分別や出し方・リサイクルに関する情報は、どこで得られていますか。(〇はいくつでも)

項目	人数	割合
ごみカレンダー	941	93.7%
ごみ分別ガイドブック	554	55.2%
広報きさらづ	148	14.7%
木更津市公式ホームページ	20	2.0%
家族・友人・知人や近所の人に聞く	47	4.7%
市(クリーンセンター)に直接聞く	108	10.8%
新聞・雑誌・テレビ・インターネットなど	18	1.8%
情報を得る手段がない	5	0.5%
その他	7	0.7%
無回答・無効	26	2.6%



問 1 2 市が行うごみの分別や出し方・リサイクルに関する情報提供は、どの方法を充実させるべきだと思いますか。(〇は3つまで)

項目	人数	割合
ごみカレンダー	820	81.7%
ごみ分別ガイドブック	549	54.7%
広報きさらづ	282	28.1%
木更津市公式ホームページ	79	7.9%
自治会の回覧	188	18.7%
ポスター	51	5.1%
イベント・キャンペーン	46	4.6%
住民説明会	28	2.8%
その他	21	2.1%
無回答・無効	38	3.8%

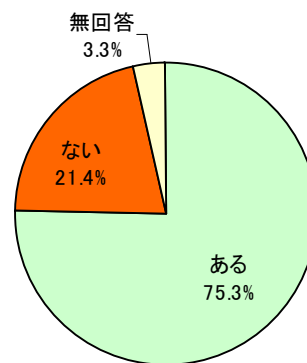


- ◆ ごみの分別や出し方・リサイクルに関する情報については、大半の方が「ごみカレンダー」(93.7%)から得ていることがわかります。また、「ごみ分別ガイドブック」(55.2%)や「広報きさらづ」(14.7%)を見たり、「市(クリーンセンター)に直接聞く」(10.8%)方も多くなっています。

「市が行うごみの分別や出し方・リサイクルに関する情報提供は、どの方法を充実させるべきか」という設問に対しては、「ごみカレンダー」(81.7%)という回答が最も多く、次いで「ごみ分別ガイドブック」(54.7%)、「広報きさらづ」(28.1%)、「自治会の回覧」(18.7%)となっています。

問13 あなたのお宅には「ごみ分別ガイドブック」がありますか。(○は1つ)

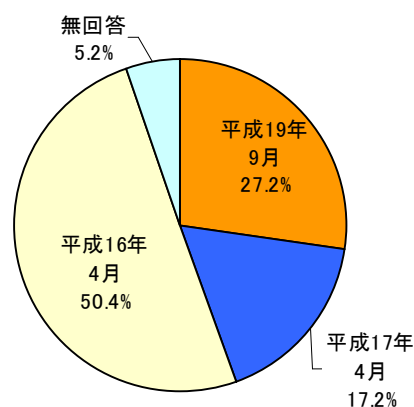
項目	人数	割合
ある	756	75.3%
ない	215	21.4%
無回答・無効	33	3.3%
合計	1,004	100.0%



問14 問13で「1. ある」とお答えになった方にお聞きします。

あなたのお宅にあるごみ分別ガイドブックは、いつ作成されたものですか。ガイドブック裏表紙右下の「平成〇年〇月〇日 作成」をご確認のうえお答えください。(○は1つ)

項目	人数	割合
平成19年9月	206	27.2%
平成17年4月	130	17.2%
平成16年4月	381	50.4%
無回答・無効	39	5.2%
合計	756	100.0%



- ◆ ごみの分別や出し方などを詳しく載せた冊子「ごみ分別ガイドブック」が「ある」と答えた方は約75%、そのうち平成19年9月発行の最新版を持っている方は約27%となっています。

6 指定袋による収集（ごみ有料化）について

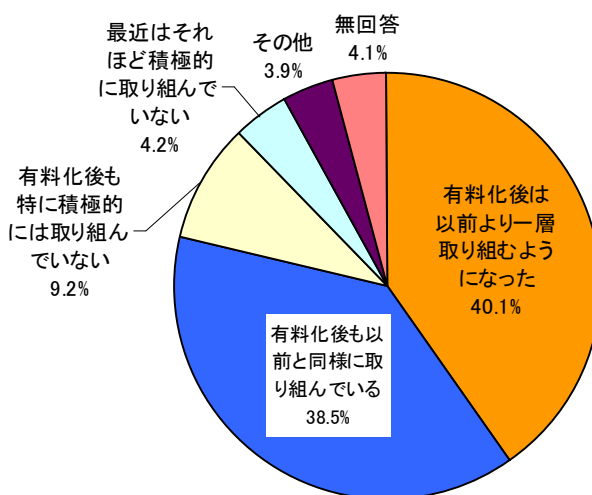
市では、平成16年度から燃やせるごみ及び燃やせないごみの袋に手数料を賦課する「ごみ有料化」を実施しています。

ごみ有料化は、「ごみ減量・リサイクル」を進めることはもちろん、ごみを多く排出する人と減量に努力している人との「負担の公平性の確保」などを目的に導入したものです。

市においても、職員の削減や事務事業の見直しを進め、ごみ処理にかかるコスト削減に取り組んでいるところですので、引き続きみなさまのご協力をお願いいたします。

問15 市では、平成16年度からごみ減量やリサイクルを進めることなどを目的に、燃やせるごみ及び燃やせないごみの袋に手数料を賦課する「ごみ有料化」を実施していますが、実施前に比べてごみ減量やリサイクルの取り組みは変わりましたか。（〇は1つ）

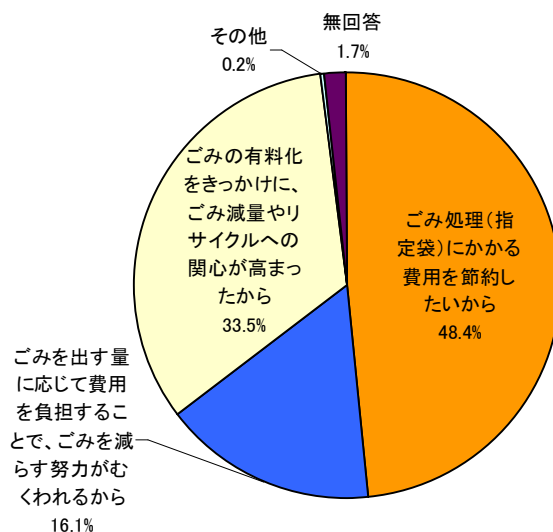
項目	人数	割合
ごみ有料化になって、以前より一層ごみの減量化・リサイクルに取り組むようになった	403	40.1%
ごみ有料化になってからも以前と同様に取り組んでいる	387	38.5%
ごみ有料化になってからも、特に積極的に取り組んでいない	92	9.2%
有料化直後は積極的に取り組んでいたが、最近はそのほど積極的に取り組んでいない	42	4.2%
その他	39	3.9%
無回答・無効	41	4.1%
合計	1,004	100.0%



- ◆ 「ごみ有料化になって、以前より一層ごみの減量化・リサイクルに取り組むようになった」方が約4割となっており、「ごみ有料化になってからも、以前と同様に取り組んでいる」（38.5%）と合わせて考えると、ごみ有料化の目的の一つ「ごみ減量化とリサイクルの推進」に一定の成果が表れていることがわかります。

問16 問15で「1. ごみが有料化になって、以前より一層ごみの減量化・リサイクルに取り組むようになった」とお答えになった方にお聞きします。
 あなたが一層取り組むようになった主な理由は何ですか。(〇は1つ)

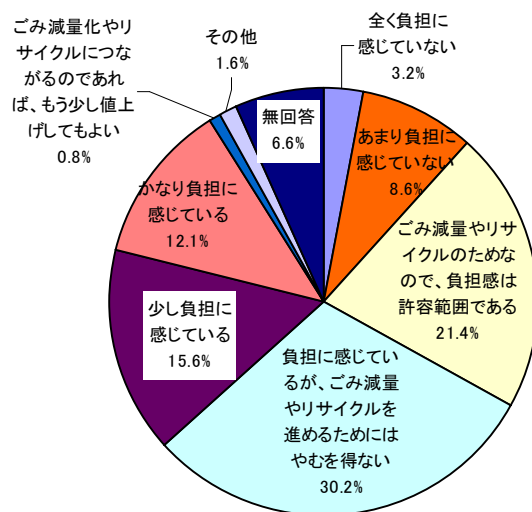
項目	人数	割合
ごみ処理（指定袋）にかかる費用を節約したいから	195	48.4%
ごみを出す量に応じて費用を負担することで、ごみを減らす努力がむくわれるから	65	16.1%
ごみの有料化をきっかけに、ごみ減量やリサイクルへの関心が高まったから	135	33.5%
その他	1	0.2%
無回答・無効	7	1.7%
合計	403	100.0%



◆ 問15で「ごみが有料化になって、以前より一層ごみの減量化・リサイクルに取り組むようになった」と答えた方の一層取り組むようになった理由は、「ごみ処理（指定袋）にかかる費用を節約したいから」（48.4%）と「ごみの有料化をきっかけに、ごみ減量やリサイクルへの関心が高まったから」（33.5%）と答えた方が多くなっています。

問17 あなたは、指定袋の価格（ごみ処理経費の負担）について、どのように感じていますか。(〇は1つ)

項目	人数	割合
全く負担に感じていない	32	3.2%
あまり負担に感じていない	86	8.6%
ごみ減量やリサイクルのためなので、負担感は許容範囲である	215	21.4%
負担に感じているが、ごみ減量やリサイクルを進めるためにはやむを得ない	303	30.2%
少し負担に感じている	157	15.6%
かなり負担に感じている	121	12.1%
ごみ減量化やリサイクルにつながるのであれば、もう少し値上げしてもよい	8	0.8%
その他	16	1.6%
無回答・無効	66	6.6%
合計	1,004	100.0%



- ◆ 指定袋の価格（ごみ処理経費の負担）については、「ごみ減量やリサイクルのためなので、負担感は許容範囲である」（21.4%）、「負担に感じているが、ごみ減量やリサイクルを進めるためにはやむを得ない」（30.2%）が多くなっています。「全く負担に感じていない」（3.2%）、「あまり負担に感じていない」（8.6%）を合わせると6割を超えており、ごみ有料化に対して多くの方のご理解をいただいていることがわかります。

問 18 その他、ごみ減量化・リサイクルなどに関するご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。

ごみの分別や出し方に関するご質問やご提案、ごみの収集体制やごみ有料化に対するご意見、リサイクルに関する情報提供の充実を求める声など、大変多くのご意見をいただくことができました。

皆さまからいただいたたくさんの貴重なご意見は、今後のごみ減量化・リサイクルの取組を進めるうえで、十分に参考とさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。